

2 こんなことに気をつけよう！

2022年4月から成年年齢が18歳に引き下げられました。民法が定めている成年年齢は、「一人で契約をすることができる年齢」という意味と、「父母の親権に服さなくなる年齢」という意味があります。成年に達すると、親の同意を得なくても、自分の意思で様々な契約ができるようになるということです。しかし、それは同時に様々な責任が発生するということでもあります。軽率な行動をとると取り返しのつかない結果につながることもありますので十分に気を付けてください。なお、困ったことがあれば保護者の方や学生生活支援センターに遠慮せずに相談してください。

◆ SNS利用にあたっての注意

<https://www.konan-u.ac.jp/life/sns/>

SNSを使って友人に発信した個人的な写真やコメントが、関係のない人々の目に触れ、本人とは無関係の人の手によってインターネット上に掲載されるなど、SNSの利用に関するトラブルが増加しています。

不適切な写真やコメントがインターネット上で掲載され拡散すると、発信者が批判にさらされ、発信者の家族や友人に迷惑がかかるだけでなく、大学から処分を受けたり、就職内定先に連絡が入り内定取消しになったりする事例が発生しています。こうした事件に巻き込まれないよう、SNSの利用に際しては、以下の点を遵守し、適切な利用を心がけてください。

■ 大学生として自覚のある行動を

大学に入学すると社会的に信用のある大人として扱われることとなります。SNSやインターネットへの情報発信だけでなく、すべての行動に対し大人として、社会人として責任を持つことが求められます。

■ SNSやインターネットは公共の場

他人を傷つけるような発言、飲酒運転などの犯罪行為を疑わせる書き込みや、他人に誤解を与えるような書き込み、他人への誹謗や中傷、差別的な書き込みをしてはいけません。また、本人が匿名のつもりでも、友人関係や過去の書き込みなどから個人の特定が簡単にできます。SNSやインターネットは、プライベートなものではなく、公共の場であることを十分に理解して利用するようにしてください。

【ネットワーク利用時に特に守るべき点】

	ポイント	内 容
1	個人情報とプライバシーの保護	自分自身だけではなく、他の人についても、個人情報とプライバシーを守ること。友人や他人の写真を許可なく SNS に投稿してはいけません。
2	なりすましの禁止	他の人になりすまして発言をしないこと。
3	不正アクセスの禁止 不正アクセスほう助の禁止	他の人のID・パスワードを不正に入手して使用したり、自身のID・パスワードを他の人に教えたりしないこと。
4	ネットワークの特徴の理解	一度ネットに出た情報は、瞬時に伝達拡散され、後になってから取り消すことが出来ない性質のものであると理解し、表現や記述には細心の注意と慎重な態度で臨むこと。
5	第三者の権利の尊重と保護	他の人の著作権等を侵害しないこと。肖像権を犯さないこと。

他大学でのSNSトラブルの例です。SNSを利用する際は、自身の発言に責任を持って、投稿してください。

	内 容
1	アルバイト中に業務用冷蔵庫に入った写真を撮影し、X (旧Twitter) に投稿。関わりのない人から投稿を拡散され、勤務していたアルバイト先は閉店することになった。また、投稿した本人には会社側から2,000万円の損害賠償を支払うよう求められた。
2	X (旧Twitter) の呼びかけで集まった複数の某関西有名大学の学生が大阪のテーマパーク「ユニバーサル・スタジオ・ジャパン (USJ)」でアトラクションを止めるなどの迷惑行為を繰り返し行った。その様子を自らインターネットで公開し、学外者から大学にクレームが入った。大学側は関与していた学生に停学などの処分を下した。
3	地元にある大型スーパーのアイス冷蔵庫の上で寝転がっている写真をX (旧Twitter) に投稿。その様子が発見された後、警察から器物破損で逮捕された。また、大学は退学処分を下した。

【甲南大学ソーシャルメディアガイドラインについて】

本学では、学生・教職員がソーシャルメディアを適切に利用し、効果的かつ安全に活用できるよう、ソーシャルメディアを利用する際の考え方や留意点をまとめたガイドラインを策定していますので確認してください。



◆ 違法薬物・危険ドラッグ等

大麻や覚せい剤などの違法薬物を所持・使用することは犯罪です。また、「合法」と表示されたハーブ、アロマ、リキッド、グミなどの製品でも、身体に有害な成分が含まれていることがあります。「合法」と記載されているからと言って安心・安全とは限りません。薬物やそれに類似する成分は脳の中枢神経に作用し、心身ともに悪影響を与えます。そして、依存性が高く、一度手を出すと取り返しのつかない結果につながります。正しい知識を身に付け判断するように注意してください。

◆ ブラックバイト

アルバイトの中には、無理なシフトを要求される、残業代が支払われない、罰金の制度があるなど、過酷な環境での労働を強いられるブラックバイトと呼ばれるものがあります。このような環境での労働は違法な場合がありますので、おかしいと感じたときは労働局や労働基準監督署などが設置する相談窓口にご相談してください。

なお、アルバイトであっても労働者には契約に基づく責任や義務が生じます。責任と権利を正しく理解し、自分を守るための判断力や知識を身に付けましょう。

◆ 闇バイト

「短時間で楽に稼げる」「即日現金支払い」「荷物を運ぶだけ」などの言葉で募集を行う求人には注意が必要です。場合によっては犯罪行為に加担させられ、命の危険にさらされるなど、あなたの未来を台無しにしてしまうことがあります。闇バイトはバイトではなく犯罪です。短期間で高額な報酬を得られる求人にはリスクがありますので、冷静に判断してください。また、「未成年なら逮捕されない」などといった誤った情報にも惑わされないように注意してください。

◆ カルト的宗教団体

趣味の活動や勉強会、アンケート調査、ボランティア活動など、一見すると宗教とは関係のない活動やサークルを装ってカルト的宗教団体は新入生に近づいてきます。「非公認団体」「〇〇大学の方から来た」など、あやふやな表現を使って自分を偽ろうとしている団体には十分注意してください。団体に入ってしまうと、資金集めや勧誘活動等にかり出され、健全な学生生活をおくれなくなる恐れがあります。安易に連絡先を教えないなど、注意が必要です。また、そのような団体が大学内で活動している場合は、至急、学生生活支援センターに通報してください。

◆ 悪徳商法など

「友達や恋人ができる」「就活に役立つ」「すぐにやせられる」など、魅力的な言葉で興味を持たせ、効果が怪しい商品売りつけたり、高価なサービスを契約させたりする悪徳商法には注意が必要です。学内外を問わず、「怪しい」と感じる誘いを受けたときは、明確に断ることを心がけてください。

また、「友人を紹介すれば手数料がもらえる」などといったマルチ商法にも注意が必要です。お金だけでなく友人を失うことにつながりますので、絶対に手を出さないでください。